

# 時間学カフェ

第44回

日時：2026年3月3日（火）13時30分～  
会場：時間学研究所 所長室  
（吉田キャンパス総合研究棟 106室）

## 話題提供者

尾崎 千佳 先生（人文学部 教授、時間学研究所 兼務所員）

## 虚構の方法と意味—西山宗因の紀行文を読み解く—

第38回時間学カフェ「武家社会と連歌—西山宗因を中心に—」に続き、江戸時代初頭の連歌師西山宗因(1605-1682)を取りあげます。肥後加藤家に仕える下級武士の子として熊本に生まれた宗因は、二十九歳の寛永十年(1633)、同家没落により牢人し、故郷を棄てて上京しました。『肥後道記』は、その実体験に基づく宗因最初の紀行文です。同書の読解を通して、前近代の日本文学作品における虚構の方法と意味について考えます。

この世の、あらゆることからは時間と関係しています。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

時間学カフェ

とは。。

気ままに、話の赴くままに、お茶を飲みながらお喋りしてみませんか？

色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません♪

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！

先生、職員、学生、学外の方、どなたでも参加OK

申込不要  
参加無料  
お気軽に  
お越しください。

問合せ先  
時間学研究所事務室  
Tel: 083-933-5848  
e-mail: sh076@yamaguchi-u.ac.jp